

# 令和5年度 心を育む学校給食週間の取組み

## ◆実施校数:335校

学校給食を実施している小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

## ◆実施内容

「こころ」づくり	食の背景に広がるいのちのつながりに気づく。 食に関する文化を理解し、作法を身につける。
<b>【取組みの特徴】</b> 生産者を招いての交流給食や、生産者の紹介掲示及び動画により、食の背景に広がるいのちのつながりに気づき、感謝の気持ちをもって、思いをあいさつや態度にこめるという取組みが多かった。また、給食に使用する野菜を自分たちで栽培して、その苦労や収穫の喜びをクイズ形式で全校生に紹介したり、おいしく食べる工夫を調べてレシピを作成したりする、児童生徒が主体となった取組みがみられた。	

## ～「学校給食ができるまで」の掲示(鮭川村立鮭川小)～




## 「こころ」づくり(豊かな心の育成、社会性の涵養)取組事例


学校名	天童市立寺津小学校
実施期間	令和6年1月15日(月)～1月26日(金)
<b>【児童会活動】</b> <b>○47都道府県の駅弁マップを作ろう(全校生)</b> 駅弁を通して、その土地の特産物に興味や関心を持たせるため、タブレットを利用し、パズル形式で駅弁マップを完成させた。	



学校名	山辺町立山辺中学校
実施期間	令和5年12月4日(月)～12月8日(金)
<b>【給食センターとの連携】</b> <b>○職業体験(2年生)</b> 学校給食センターで職業体験を行った2年生と、栄養教諭、給食担当教諭の三者で、給食センターの業務内容や、職員の方々が日常的に気を付けていることなどを、お昼の放送で座談会を行い、全校生徒に伝えた。 <b>◎成果</b> 放送では、給食センターの業務内容や、職員の方々が日常的に行っている細やかな取組みを全校生徒、教職員が理解し、感謝の気持ちを育むことにつながり、学校での給食活動にも活かされている。	




学校名	尾花沢市立宮沢小学校
実施期間	令和5年12月15日(金)～12月22日(金)
<b>【食育の充実】</b> <b>○学校給食共同調理場の方へ感謝のメッセージ</b> 日頃の給食への感謝の気持ちを伝えるメッセージを書き、学校給食共同調理場へ届けた。児童委員会活動で「好きな給食アンケート」を実施し、「好きな給食ランキング」を発表した。結果を調理場の方にもお知らせした。 <b>○年代別給食献立の展示</b> 山形県学校給食会から「年代別の給食献立」のサンプルを借用し展示した。年代ごとに当時の給食を本物そっくり再現したサンプルを子どもたちは興味深く見ていた。 <b>○おうちの人・全職員にインタビュー</b> 子どもたちが父母や祖父母から当時のメニューや給食にまつわる思い出話を聞き、カードにまとめた。併せて、期間中、全職員が毎日2～3名ずつ、給食の思い出話について紹介した。年代や世代地域も様々な職員の当時の給食の思い出話を聞くことで、より学校給食に対する興味・関心が高まった様子が見られた。 <b>○ALTからみた日本の給食</b> アメリカ出身のALTに、アメリカと日本の給食の違いや日本の給食の感想等について質問した。日本だけでなく、外国の食文化についても興味・関心が高まった。 <b>○給食に関する図書の展示</b> 本校の図書室や近隣の市立図書館から給食に関する書籍を借りて展示した。本を通して給食の歴史や日本全国各地の給食、世界の給食について学ぶことができた	




学校名	新庄市立萩野学園
実施期間	令和6年1月15日（月）～1月26日（金）
<p><b>【学校給食の充実】</b></p> <p>○ご当地メニューの提供</p> <p>地元地域の特産物や給食の歴史について理解を深め、食文化を大切にしていこうとする気持ちを育てるため、ご当地メニューの提供を行い、掲示資料や放送で最上の特産物の特徴や給食の歴史に関する食文化を紹介した。（鮭川村、新庄市、舟形町、金山町、最上传承野菜、雪若丸）</p> <p>◎成果</p> <p>最上8市町村の白地図を使用して特産物を紹介する掲示をしたり、献立に取り入れたりすることで児童生徒の興味関心を高めることができた。</p>	
	

学校名	新庄市立八向中学校
実施期間	令和6年1月15日（月）～1月26日（金）
<p><b>【委員会活動】</b></p> <p>○保健委員会による「世界の給食」発表</p> <p>世界の給食文化の紹介を通して、世界各国の食文化の面白さを感じさせるとともに、日本の給食や食文化について考えさせる機会として、保健委員会の生徒が、それぞれ興味をもった国の給食についてまとめ、給食の時間を使って発表した。</p> <p>（発表内容）世界各国の給食献立の特徴 給食システムの日本との違い 使用される食材の特徴、食事のマナー等</p> <p>◎成果</p> <p>生徒は世界の給食を知ることで、各国の食文化の多様性や面白さを感じていた。また、日本の給食との違いについて考え、日本の給食や食文化の良さについて気づいていた。</p>	
	

学校名	高島町立高島中学校
実施期間	令和5年9月・11月
<p><b>【動画配信】</b></p> <p>○有機農業の動画配信</p> <p>有機農業に力を入れている自給農産物組合員の方の枝豆栽培の様子（農薬を使用しないため、虫の駆除で工夫していること、SDGsに関する取組みなど）を動画にまとめたものを給食時間に各クラスで視聴した。</p> <p>◎成果</p> <p>農薬を使用しないため、木酢での虫の駆除や除草の苦労を知ることができた。また、選別の苦労もあり、そこではじかれる豆は肥料として再利用していることも知ることができた。生産者が消費者のことを思って栽培している気持ちが十分に伝わる動画だったので、生徒も枝豆を大切にいただくことができた。</p>	




学校名	小国町立小国小学校	
実施期間	令和5年11月27日（月）～12月1日（金）	
<p><b>【生産者との交流】</b></p> <p>○生産者の方のお話を聞いて小国町のいいところを知ろう</p> <p>給食へ食材を届けてくださる地元の生産者の方から、工夫していることや大変なこと、給食や児童に対する思いについてのお話を聞いた。</p> <p>【低学年：ごはんや田んぼの話】      【中学年：味噌と体の話】      【高学年：きのこの話】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◎成果</p> <p>給食に地場産物を多く取り入れたことで、小国産を意識して給食を食べることができた。</p> <p>学年に応じた内容や言葉を選んでいただいたおかげで、子どもたちは集中して話を聞くことができ、地場産物についての理解や食べ物への興味を深めることができた。また、苦手でも少しでも食べてみようという思いを高めることができた。</p>		

学校名	飯豊町立手ノ子小学校	
実施期間	令和5年12月11日（月）～12月15日（金）	
<p><b>【生産者との交流】</b></p> <p>○生産者による講話・バターづくり体験</p> <p>酪農家の方による講話で、成長期に適した牛乳の栄養価について、また、おいしい牛乳が搾れるまでの仕事の様子や思い、命のつながりの尊さについて、動画なども交えお話しいただいた。また、牛乳から作る加工品としてバターづくり体験もさせていただき、生産者の方との交流を深めた。</p> <p>※バターづくりの原材料は、酪農組合さんが提供してくださった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>◎成果</p> <p>生産者の方からは思いのこもったお話を聞かせていただいた。児童からはたくさんの質問や感想が出され、興味と理解が深まったことが感じ取れた。外部講師の重要性を感じた。</p>		

学校名	庄内町立余目第三小学校
実施期間	令和5年12月11日（月）～12月15日（金）
<p><b>【児童会活動】</b></p> <p>○全員参加型の給食かるた</p> <p>給食に関する感謝の気持ち、わくわくする気持ち、苦手なものに対する不安な気持ちなど、一人一人が感じている思いをかるたにして表し、放送で各クラス数名ずつ紹介した。また、全員分を掲示することで、思いを共有できるようにした。</p> <p>◎成果</p> <p>子どもたちは喜んで参加することができた。給食への感謝の気持ちや、楽しみな気持ちが素直に表れていた。</p>	




学校名	酒田市立黒森小学校
実施期間	令和5年12月4日（月）～12月8日（金）
<p><b>【食に関する指導】</b></p> <p>栄養教諭が学年の発達段階や課題に合わせた内容で栄養指導を行い、食に対する理解が深まるようにした。その様子を学校ブログや学年だより等を通して各家庭に周知した。児童が指導の内容について「わかったこと」や「これからどんなことに生かしていくか」を書いたものを栄養教諭から見てもらい、コメントをいただいた。</p> <p>○低学年「食事マナー」</p> <p>正しいはしや茶碗の持ち方や、正しい姿勢、姿勢よく食べることの利点などについて学んだ。はしと茶碗を一人一人に用意し、実際に持ってみて自分のはしの持ち方の良し悪しや難しさに気づき、良い持ち方にしようとする意識付けとなった。</p> <p>○中学年「バランスの良い食べ方」</p> <p>自分の食生活を振り返り、今後どうしていけばよいか考えることができた。</p> <p>○高学年「庄内地域の食べ方と郷土料理」</p> <p>スーパーのチラシから庄内産（鶴岡産）・酒田産のものを探し、多くの特産物があることを知った。郷土料理を取り巻く課題についても学び、今後もっと郷土料理を食べていきたいと思うことができた。</p> <p>◎成果</p> <p>栄養教諭による栄養指導では、児童だけでなく、教師も参考になる内容で、食・給食について、よく考えるいい機会となった。児童の感想やわかったことには、「自分はあまり好きではない食品だが、体のためには良い働きをするものがあり、頑張って食べるようにしたい」とか、「マナーの大切さや自分のはしの持ち方がまちがっていることに気づいた」などがあつた。特産物や郷土料理について、給食の献立や日々の給食の中で見つけて楽しそうに食べる姿が見られた。</p>	

学校名	遊佐町立遊佐小学校
実施期間	令和6年1月22日（月）～1月26日（金）
<p><b>【展示の工夫】</b></p> <p>○調理体験コーナー</p> <p>調理で使用している「へら」の展示と回転釜の大きさを示すテープを床に貼り、実際に持ってみる等の体験コーナーを設置した。また、体験コーナーの近くに調理員さんの給食づくりと片付け時の写真を掲示した。</p>  <p>◎成果</p> <p>調理員さんに関する写真や体験コーナーを通し、「こんな風に作っているんだ。」「へらがこんなに重いと思わなかった。」など、給食づくりの大変さを児童だけでなく、教職員も知る機会となった。</p>	

学校名	鶴岡市立鶴岡第四中学校
実施期間	令和6年1月12日（金）～1月19日（金）
<p><b>【生徒会活動】</b></p> <p>○給食クイズと資料展示</p> <p>毎年給食委員が食べ物に関するクイズを作成し、校内放送で読み上げ、生徒たちが食事をしながら考える活動を行っている。各クラスの給食委員が分担しクイズを作成することで、委員としての自覚と達成感を味わうことができた。その日の給食に使われている食材について、普段知ることができないような知識に触れたり、発見があったり、楽しい活動となった。</p> <p>その他、図書委員会と給食委員会が連携し、「学校給食発祥のまち」のクイズを行ったり、学校給食発祥に関わる資料を朝学習の時間を使い図書委員長が全校に紹介したり、鶴岡の給食について深く知るきっかけとなった。</p> <p>◎成果</p> <p>毎年引き継がれてきた「給食クイズ」を委員会の代表的な行事とし、楽しみながら取り組んでいる。問題を作成する給食委員も、問題を聞いて回答する一般生徒も、この機会に食材についての知識を広められた。また、給食一口メモの放送は、給食センターの皆さんから計画していただいた、バランスの良い栄養豊かな給食について知り、感謝しながら給食を食べる取組みとなっている。「学校給食発祥のまち」についての取組みでは、あらためて鶴岡の給食についての歴史を知る活動となった。</p>	

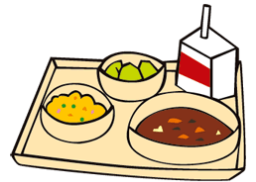
学校名	県立鶴岡養護学校
実施期間	令和5年12月11日（月）～12月15日（金）
<p><b>【食育の充実】</b></p> <p>○絵本の読み聞かせ</p> <p>食に関する関心を高めるために、鶴岡市立図書館から食に関する本を約30冊借りて、校内で貸し出しを行った。学級ごとに読み聞かせをするなどして活用した。</p> <p>◎成果</p> <p>幅広い実態に合わせた本を選んで借りてきたので、児童生徒それぞれ気に入った本があった。献立とリンクさせ関心を高めることができた。</p>	

学校名	県立村山特別支援学校天童校
実施期間	令和6年1月17日（水）～1月30日（火）
<p><b>【掲示の工夫】</b></p> <p>○感謝を伝えるチャレンジコーナーの設置</p> <p>「食事のあいさつをしっかりする」、「食べ物に感謝して残さず食べる」、「食事のマナーに気を付けて食べる」ことを目標に、チャレンジコーナーを設置した。三つの目標のうち、下学年は一つでも目標を達成できるように、上学年は三つの目標を達成できるように取組み、達成できた時には、ありがとうの花のシールを貼っていくことで「ありがとうの花束」を完成させ、できあがった花束は学校給食センターに届けた。</p>  <p>◎成果</p> <p>チャレンジコーナーの活動を通して、食への関心を高めたり給食に関わる方々へ感謝の気持ちをもったりすることができた。</p>	



# 心を育む給食通信

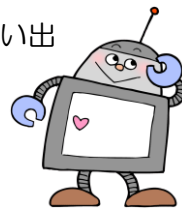
尾花沢市立宮沢小学校  
令和6年1月9日(火)



12月15日(金)~22日(金)は、本校の「心を育む給食週間」でした。今年は、「学校給食の歴史を知ろう」をテーマに学校給食の歴史を伝え、学校給食に対する興味・関心を深める機会となりました。また、毎日の給食に改めて感謝の気持ちを育む機会となりました。取り組みの様子を写真で紹介합니다。

## <お家の方にインタビュー>

お家の方から昔の給食について教えてもらいました。どのエピソードも懐かしく給食の風景が思い出されるものでした。明德小の頃の給食の思い出や瓶牛乳の思い出、コッペパンの思い出等がありました。ランチルーム前に掲示しました。お家の方からのご協力ありがとうございました。



## <年代別献立モデルの展示>

給食物資を供給して下さる「山形県学校給食会」から年代別献立モデルをお借りしました。学校給食のはじまりは、明治時代、山形県鶴岡市が発祥の地と言われています。明治22年~平成14年までの6つの給食サンプルを展示しました。アルミの食器や先割れスプーン、瓶牛乳など当時の給食を本物そっくり再現したもので、子ども達は興味深く見ていました。



## <給食に関する図書の展示>

本校の図書室や村山市立図書館、東根市立図書館から給食に関する書籍を借りてきました。子ども達に人気の「給食番長」の大型絵本も展示しました。学校給食の歴史や日本全国各地の給食、世界の給食についてたくさん知ることができました。



## <ALT クローイー先生にアメリカの給食について質問>



アメリカ出身の ALT クローイー先生に英語で3つの質問しました。「①アメリカの給食と日本の給食では、どんな点が違いますか?②日本の給食はどうですか?③日本の給食の中で一番好きな献立は何ですか?」...どんな答えだったかは、子ども達に聞いてみてください。私も今まで外国の給食については、全く知らなかったのでとても興味深かったです。クローイー先生にはアメリカの事をたくさん教えて頂き、とても貴重な機会でした。

Thank you very much.



### <先生方の給食の思い出紹介>

毎日2～3人ずつ、先生方全員から給食の思い出を話してもらいました。「今日は誰先生のお話？」と子ども達は興味津々で聞いていました。鯨肉、思い出のパン、肝油、瓶牛乳、アルミ弁当箱、おにぎり、交換給食、先割れスプーン、オレンジシャーベット、ミルメーク等々…キーワードを挙げただけでも、どれも思い出深いお話でした。先生方ありがとうございました。内容は、ぜひ子ども達に聞いてみてください。



### <クリスマス給食（セレクト献立）>

12月21日、はクリスマス献立でした。また、セレクト献立として、デザートのカークを各自、「チョコレートケーキ」か「ストロベリーケーキ」のどちらかを選びました。いつもは全員同じ給食ですが、選べる献立によって、自分で選ぶ楽しさや食べ物への興味関心を高める献立となりました。特別メニューに子ども達はニコニコ笑顔でした。



### <学校給食共同調理場の方へ感謝のメッセージ>

毎日給食を作ってください調理師さんや献立を考えてくださる栄養士さん、給食を届けてくださる方、学校給食調理場の皆さんに感謝のメッセージを届けました。調理場とは施設が離れているため、毎日会うことはできませんが、メッセージを通して感謝の気持ちを伝えました。また、学校では、普段から給食の感想を伝えることができるようにポストも設置しています。時々、お返事もくださり子ども達はとても喜んでます。毎日、おいしい給食をありがとうございます。また、後日、保健体育委員会で「好きな給食アンケート」を集計し、ランキングを発表しました。結果は、調理場の方にもお知らせしました。

